

農業新聞ダイジェスト

ご紹介いたします。(令和4年1月から6月分)



6月
23日

バレイシヨ 8.4億円

鹿児島・JA 23年増、410ト出荷

【鹿児島・種子屋久】JA種子屋久の2021年度産バレイシヨの出荷が5月中旬で終了した。販売高は8億4000万円(同一22%)となり大幅の増収となった。

出荷量は4104ト。販売は、関東市場が中心。付面積は160ヘクタール。20年度は1318ヘクタール。心だつた。21年度の作年度の高値取引が影響

ブロッコリー 762ト

鹿児島・JA 今期販売2.4億円に

【鹿児島・種子屋久】JA種子屋久で2021年12月から始まったブロッコリーの出荷が5月中旬で終了した。鹿児島くみあい食品を通じて全国の大型スーパーなどで販売した。JA管内では、厳寒期でも安定して露地栽培ができ、サツマイモの後作として農家に定着している。

21年度産は生産者186人が105ヘクタールで栽培。出荷量762ト(前年比114.2%)、販売高2億4401万円(同一101.6%)となった。

基腐病対策へ着々

熱処理装置を導入

鹿児島・南種子町
さつまいも生産対策協



サツマイモの豊作と運用開始を見守る関係者

6月
9日

者の期待は高まっている。

4月
1日

つのまき 新たな味へ

郷土料理を商品開発

県立種子島中央高校
JA種子屋久女性部

【種子屋久】県立種子島中央高校の生徒とJA種子屋久女性部中種子支部は3月中旬、「つのまき研究会」を発足し、第1回の試作会を開いた。種子島の郷土料理「つのまき」を、新しい商品を作る狙い。地域の食文化に興味のある同校生徒らが、学校の課外授業の一環で味付けの異なるつのまきを作りたいと同部に提案した。



「つのまき」の味付けを研究する高校生と女性部員ら

熊毛郡1次に32頭進出

鹿児島・JA 10日へ向け審査



2冠を達成した中国さん

5月
6日

5月
4日



レーザーファンの仕上がりを確認する担当者

月
日

農業者の確定申告時の必要経費として計上することができます！

【種子島地区：JA生活福祉課(24-2130) 屋久島地区：JA組合員課(47-2211)]へご連絡ください☆



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】高め安定運です。おいしい物を食べに行ったり温泉を楽しんだりして。気の置けない人たちと過ごすのがお勧め
【健康運】グループで楽しめるスポーツにツキあり
【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ

JA たねやく
2022・9

6